

専攻科 健康栄養専攻 教育課程及び年次配分表【2024年度入学生】

専攻のDP

- ①社会・環境と健康、人体の構造と機能及び疾病の成り立ち、食べ物と健康、基礎栄養学、応用栄養学、栄養教育論、臨床栄養学、公衆栄養学、給食経営管理論
- ②科学的・論理的思考に基づき、食と健康に関わる現代的課題に対応するための思考力と判断力および表現力を獲得している。
- ③多様な価値観や文化を尊重し、栄養士、管理栄養士として社会に貢献しようとする使命感や責任感を獲得している。
- ④科目の履修と「学修総まとめの科目」である「特別研究」による栄養学に関する調査・研究を行い、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構による審査を経て、「学士（栄養学）」の学位を取得できる能力を獲得する。

専攻の学習成果

- ①社会・環境と健康、人体の構造と機能及び疾病の成り立ち、食べ物と健康、基礎栄養学、応用栄養学、栄養教育論、臨床栄養学、公衆栄養学、給食経営管理論
 - ・人間の尊厳を理解し、高い倫理観をもって、人々の健康の維持増進、疾病の予防治療に貢献できる力を獲得している。
 - ・社会・環境と健康、人体の構造と機能及び疾病の成り立ち、食べ物と健康、基礎栄養学、応用栄養学、栄養教育論、臨床栄養学、公衆栄養学、給食経営管理論に関する専門的知識を獲得し、管理栄養士業務に必要な高度な知識と実践力を獲得している。
- ②科学的・論理的思考に基づき、食と健康に関わる現代的課題に対応するための思考力と判断力および表現力を獲得している。
 - ・科学的・論理的思考に基づき、自らの食と健康に関わる課題を把握する力を獲得している。
 - ・他者と連携・協働して、食と健康に関わる現代的課題を解決する力を獲得している。
- ③多様な価値観や文化を尊重し、栄養士として社会に貢献しようとする使命感や
 - ・多様な価値観を理解し、食と健康の問題を捉える能力を獲得している。
 - ・栄養士、管理栄養士として地域社会やグローバル社会に貢献しようとする使命感と責任感を獲得している。
- ④栄養学に関して履修する上で総まとめとしての調査・研究を行い、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構による審査を経て、「学士（栄養学）」の学位を取得する。

◇ 必修科目【修了単位:21単位】

科目名	単位数	授業時数/週				学習成果			
		1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	①	②	③	④
解剖生理学特論	2	2				○			○
運動生理生化学	1			1		○			○
病理学	2		2			○			○
栄養生理生化学	2		2			○			○
微生物学	2			2		○			○
食品科学	2				2	○			○
栄養学特論	2		2			○			○
臨床栄養学特論 I	2		2			○			○
公衆栄養学特論	2			2		○			○
特別研究	4			4	4		○		○

◇ 選択科目【修了単位:41単位以上】

科 目 名	単位 数	授業時数/週				学習成果			
		1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	①	②	③	④
公衆衛生学演習	1				2		○		○
解剖生理学特論実験	1		3			○			○
栄養生理学化学実験	1	3				○			○
栄養化学演習	1				2		○		○
食品科学実験	1				3	○			○
地域食品学	2				2	○			○
国際栄養学	2	*						○	○
ライフステージ栄養学特論	2				2	○			○
栄養教育特論	2	2				○			○
栄養教育特論演習	1		2				○		○
臨床栄養学特論Ⅱ	2			2		○			○
臨床栄養学特論実習Ⅰ	1	3				○			○
臨床栄養学特論実習Ⅱ	2		*		*		○		○
臨床栄養アセスメント演習	1				2		○		○
公衆栄養学特論実習Ⅰ	1			3		○			○
公衆栄養学特論実習Ⅱ	1				*		○		○
給食経営管理学	2	2				○			○
給食管理特論実習Ⅰ	2	6				○			○
給食管理特論実習Ⅱ	2		*		*		○		○
健康管理論	2		2			○			○
調理学特論	2	2				○			○
調理学特論実習Ⅰ	1	3				○			○
調理学特論実習Ⅱ	1		3			○			○
食品加工学特論	2			2			○		○
食物学演習	1				2		○		○
人間関係特論	2		2					○	○
栄養統計学	2		2				○		○
生活環境論	2			2				○	○

専攻科 健康栄養専攻 教育課程及び年次配分表【2023年度入学生】

専攻のDP

- ①社会・環境と健康、人体の構造と機能及び疾病の成り立ち、食べ物と健康、基礎栄養学、応用栄養学、栄養教育論、臨床栄養学、公衆栄養学、給食経営管理論
- ②科学的・論理的思考に基づき、食と健康に関わる現代的課題に対応するための思考力と判断力および表現力を獲得している。
- ③多様な価値観や文化を尊重し、栄養士、管理栄養士として社会に貢献しようとする使命感や責任感を獲得している。
- ④科目の履修と「学修総まとめの科目」である「特別研究」による栄養学に関する調査・研究を行い、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構による審査を経て、「学士（栄養学）」の学位を取得できる能力を獲得する。

専攻の学習成果

- ①社会・環境と健康、人体の構造と機能及び疾病の成り立ち、食べ物と健康、基礎栄養学、応用栄養学、栄養教育論、臨床栄養学、公衆栄養学、給食経営管理論
 - ・人間の尊厳を理解し、高い倫理観をもって、人々の健康の維持増進、疾病の予防治療に貢献できる力を獲得している。
 - ・社会・環境と健康、人体の構造と機能及び疾病の成り立ち、食べ物と健康、基礎栄養学、応用栄養学、栄養教育論、臨床栄養学、公衆栄養学、給食経営管理論に関する専門的知識を獲得し、管理栄養士業務に必要な高度な知識と実践力を獲得している。
- ②科学的・論理的思考に基づき、食と健康に関わる現代的課題に対応するための思考力と判断力および表現力を獲得している。
 - ・科学的・論理的思考に基づき、自らの食と健康に関わる課題を把握する力を獲得
 - ・他者と連携・協働して、食と健康に関わる現代的課題を解決する力を獲得して
- ③多様な価値観や文化を尊重し、栄養士として社会に貢献しようとする使命感や
 - ・多様な価値観を理解し、食と健康の問題を捉える能力を獲得している。
 - ・栄養士、管理栄養士として地域社会やグローバル社会に貢献しようとする使命感と責任感を獲得している。
- ④栄養学に関して履修する上で総まとめとしての調査・研究を行い、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構による審査を経て、「学士（栄養学）」の学位を取得する。

◇ 必修科目【修了単位:21単位】

科目名	単位数	授業時数／週				学習成果			
		1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	①	②	③	④
解剖生理学特論	2	2				○			○
運動生理生化学	1			1		○			○
病理学	2		2			○			○
栄養生理生化学	2	2				○			○
微生物学	2			2		○			○
食品科学	2				2	○			○
栄養学特論	2		2			○			○
臨床栄養学特論 I	2		2			○			○
公衆栄養学特論	2			2		○			○
特別研究	4			4	4		○		○

◇ 選択科目【修了単位:41単位以上】

科 目 名	単位 数	授業時数/週				学習成果			
		1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	①	②	③	④
公衆衛生学演習	1				2		○		○
解剖生理学特論実験	1		3			○			○
栄養生理学化学実験	1		3			○			○
栄養生化学演習	1				2		○		○
食品科学実験	1				3	○			○
地域食品学	2				2	○			○
国際栄養学	2	*						○	○
ライフステージ栄養学特論	2				2	○			○
栄養教育特論	2	2				○			○
栄養教育特論演習	1		2				○		○
臨床栄養学特論Ⅱ	2			2		○			○
臨床栄養学特論実習Ⅰ	1	3				○			○
臨床栄養学特論実習Ⅱ	2		*		*		○		○
臨床栄養アセスメント演習	1				2		○		○
公衆栄養学特論実習Ⅰ	1			3		○			○
公衆栄養学特論実習Ⅱ	1				*		○		○
給食経営管理学	2	2				○			○
給食管理特論実習Ⅰ	2	6				○			○
給食管理特論実習Ⅱ	2		*		*		○		○
健康管理論	2		2			○			○
調理学特論	2	2				○			○
調理学特論実習Ⅰ	1	3				○			○
調理学特論実習Ⅱ	1		3			○			○
食品加工学特論	2			2			○		○
食物学演習	1				2		○		○
人間関係特論	2		2					○	○
栄養統計学	2		2				○		○
生活環境論	2			2				○	○